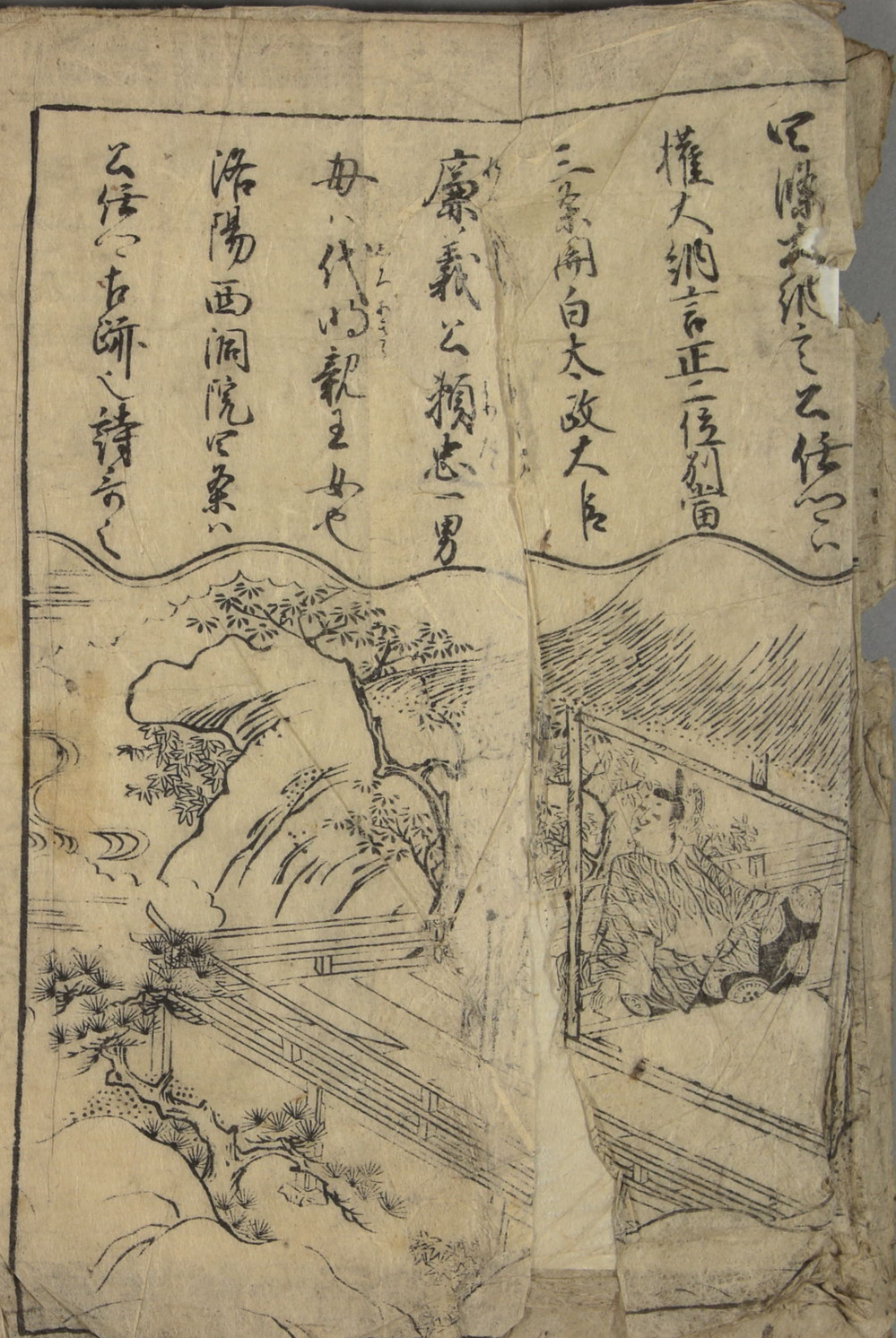


和漢朗詠集目録

春

立春　早春　玄鳥　春夜

子日付若菜　三月三日　暮春

三月盡　閑三月　鶯　霞

雨　梅付梅　柳　花付花　蹴鞠

歎冬　藤　夏　更衣

首夏　夜夜　端午　納涼

晩夏　花橘　蓮　郭公　螢

蟬　扇　秋　立秋　早秋

七夕　秋興　秋暁　秋来

八月十五夜付月　九月九日付菊　九月盡

女郎花　萩　蘭　槿　芙蓉　紅葉付楓葉

鴈付帰雁　冬　初冬　冬夜　歳暮

焚火　霜　雪　氷付氷　霰　備石

雜　風　雲　晴　暁　松　竹　鶴

藤　管絃付楽妓　文詞付遊女　酒　山付山

水付渓　禁中　古京　故宮付城宅　仙家付道士隠倫

田家　隣家　山寺　佛事　僧　閑居

眺望　餞別　行旅　庚申　帝王（付法皇）

親王（付王孫）　恵相（付執政）　将軍　刺史　詩史

王昭君　妓女　老人　交友　懐舊

述懐　慶賀　祝　恋　無常　白

和漢朗詠目録終

瀟湘八景詩歌

八景詩の或説に東坡の酒かりの文白居易の侍ごとい為りこれ誤なり

此絵八玉洞之作也瑩玉洞ハ南宋の代の詩人なりけり山水画をもつて

恵崇と師として習へ

る西湖の浄慈寺の

僧なり圖繪宝鑑ホ

と其傳有日本もん

絵とする者玉洞や

うやつぱハ此人の夏也

八景の詩ハ此泉中納

言為相卿の作也の相

ハ定家卿の孫也為

家の子也西行ゴ

紀に唐の絵に倣日本也

古人の名所名所なり

春

巫春

遅吹潮開不待芳菲之候

迷玄花影將布雨露之恩

池凍東頭風度解窓梅小

面雪封寒

うつろにいろいろふるゆきを紙

こそやいとしやいとうん寺

柳無氣力除先初池貫波

首篇戊

文水畫開
今日不知誰計會春風喜
水一晴來　白居易
夜向殘更寒磬盡喜空香
火曉爐燃　良春道
神ひらてしかすかに水のこゑもとゝ
けるそらにうつりにやみりゆきもん
もてふせいとくけさいみ　達磨

瀟湘秋夜　早春

先月望江易　水消田地盧雖絕春入枝
雪凝雲粘　除柳眼迎
風澤雁孤　先遣和風報消息漢教歸
燒笋寒驚葉　馬說來由　元稹
懸泥向竹枝　東岸西岸之柳遲速不同
江湖寢　荀枝小枝ら梅并房已矣　白

紫塵蝶顔人拳手碧五寒

蘆雛脱毫　野橋

雪霧風梳新柳髪氷消浪

洗痛苦驕　都良香

遊潤氣色晴砂線林象家

輝宿雪紅　橘吉

やまとうたの
春ふかくなりぬれば
あをやぎの
いとのうへに
ぬきみだれたる
ものとぞ
みえける

春興

花下忘園　藤原惟成

野亭芳菲紅弾地遊絲柔乱碧羅天

哥酒家之花　菅原文時

春風
春雨の
のどかなる
ものとぞ
みえける

春泉
春雨
春雨の
のどかなる
ものとぞ
みえける

春雨
春雨の
のどかなる
ものとぞ
みえける

春雨
春雨の
のどかなる
ものとぞ
みえける

秋月を
もむ
川
沖津
三東
海

山桃漫野桃月曙の錦之幅　柳陰

岩梅風宛麗者之形　紀世名

蜀野廣敷紅錦清者天遊織物羅綾

林中花錦時雨落くの超絲式有芸

筆舞和月彩恩詩潤春風もよ情

しなの花いさしの袴や

さらさらとしてけるいなかれあてちりぬるさう楽

こうのけりさんあしの　赤人

洞庭秋水

雁夜

月燭共憐深春月照花間情如夢

雨風雲出者

玉露頭焼

関治桂花香

蛍ふい霧高

恨玉映事

紅色蘆屯

けりの夢ちかんいのやしけれのいの白

いろこ紅みしいの称白やいろこ　新恒

子日付若菜

倚松樹ん摩勝翠風和ん雅和也和

菜養而時紅期事味之克調　菅

倚松根摩千年之翠海年

[illegible]

打梅花而掃頭二月之雪爲花
[illegible]
ねのもすのもの[illegible]
[illegible]

若菜

野中光業世事推之道心
爐下和義俗人屬之義掬

明鏡 大納言長雅卿法名

[illegible]

道遠院
[illegible]

懷紙 權女特源国永法名

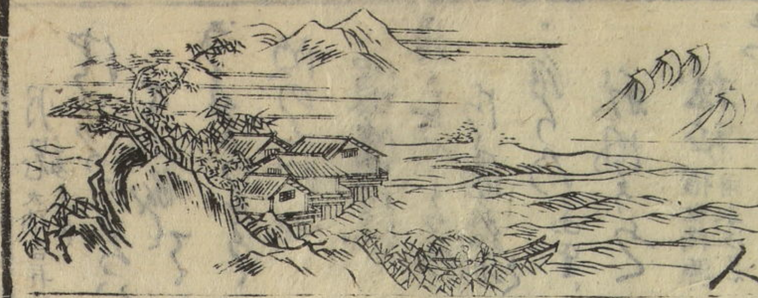
[illegible]

あすのゝ[illegible]
たのし[illegible]
[illegible]
きみのゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

三月三日 付桃花

春來遍是桃花水不辨仙源何處尋
[illegible]三朝天醉千花春
[illegible]也我君一日之澤万機餘曲

風むかふ雲のうきはしうとみくにわたるさえよりあるふね　人



雖遺麝煙書巴字而和地物思
魏文帝觀風流蓋志所之謹獻
序云尓

菅三品

煙霞遠近應同戸桃李淺深仙到盃
水成巴字初二日源起周年花我来
磯石濯来似鶴羽幸流遥自巡遷

桃

菅原道真

遠浦帰帆

夜面倫潮曾波之船彩橋
鴻雁書書山

曉風濱波不言山人嘆

楫叶潮平新

みちてせかれなくなりしかふるさと
あるさくらあ知るらむ　船恒

流橋流蓋

暮春

橋月入高楼

樺水柳花千万絲蘭橋當古友三杯
高楼多酒但如酒潮落時礼縁暗馬蓮深春
江上人無更如潮落時幸与春酒莫

劉伯倫祀今日如應言此處實言行

三月盡

留春こゝ不駐老歸人寂寞

竹院君閑消日月祀事我解送殘春

桐牧春況留清堂藤花下消閑春

送春不用動舟車惜別殷勤寄一茶

別使韶光祀意今青祝宿花酒客

留春南風城園祀落花風雨金

春ふの月をけふ惜ハ春ふ小ゝ

さ川ともやすらハ月のうをうハ

なれもみなちるあるやらハゆく春れ

ゆるけるくるなるねへ春なれ

まれをこむとおしとたのもれぬ

まるみのあるハけるこ春の松

閑三月

為甲

しゆるこれいそき

らむしけれ乃の

ゆれ潮寄つ

りりり

故小松院

一家ゆゆひ

ともるるる

を乃けるひて

るれ沖の船

ゆ称

宋世

あるる仕ハ

遠の波ハ

のるるハ波

ゆる人

書かし琴の音ふ
けしふ絃の音ふ
音かし人いろ
いかくなり

今年同在春三月業看金陵一度也
歸家新聞鶯更遍聞於孤雲高
辭林棄城三遍聞於一月之中也
紀悔初無春鳥入公之過
けてはるまくらもしらぬこゑ
むこのこゑあれやハすら

伊勢

鶯

鶯既啼忠信侍其常赤心逢賢主谷

遠寺晩鐘

雲底不見桃
主人殿、滝
勢所聞岡崎
主人方れ
を為云只在し
山中

雖家碧樹鶯啼而在暮猶
幾重紀堂夢覺而孫苑赤雲
咽雪山常帝沙屋無蓬
雲久為酒常時為酒常風法西
鶯新語不來花下莫名桃園陸水色
感同新花根未離海上屋春猶
玄黄氣而繞渓詩吟奥

為兼

世をうぐひす人待ふるさと

寺ごもる月

なかれの滝

樵夫

ゆまるふ風もや

ちるくもちらん

たゆむ心

入れかうね

嵯の松院

滝のうち

ちるもちるさ

くるもやん

入相の滝

嵯峨之神輦収積雪於滝掬

周郎之籍頻動願問所於新花

新路出今宴宿雪藉県侯屋

西橋月落花間出中夜鳴竹裏音

あくたまれ

まくらの

あさぼらけ

ちるはなの

うくひすの

やまのさい

素性

中務

雅景集

北門

寒うりひ雪

のくるれふ寺

ふんくそ猟ふ

くるうねのおと

のる

業雅

海のれ入れ

りの絲のれ

れ槙ふ山

のれくの

ふる寺

道遥院

なんぞ尾崎

のくねのゆふ煙

彩れハまれ

ゆめとまくを

霰

霰光照以銀於史草色照来於似煙

鶴汁菓子二分計蹴樹霰縄水隠

きこの

かもれ

はるすか

よしの

あくひさ

はるれす

雨

赤人

兼盛

松をそ紀
はめ
しわうへの
雲晴く
のしは
ちつひ

西しとれ雲

感嘉[illegible]下潮墨子[illegible]悲
時舞鬢間晴初蕩郎之恩
長不[illegible]離[illegible]花外[illegible]池松色[illegible]中流
養得[illegible]文世流未[illegible]鶯[illegible]花信
花[illegible]開月初陽[illegible]馬元[illegible]時蕩蕩
斜聊[illegible]先[illegible]感晴[illegible]初日未晴福
[illegible]

山市晴嵐

一年海旅斜
[illegible]数[illegible]人
[illegible]輝[illegible]中
山[illegible]酔[illegible]海
[illegible]晩
[illegible]雲[illegible]
[illegible]風

あとやきこりのいりしくぬるとしのみち　伊勢

梅

白川[illegible]福[illegible]浮[illegible]名[illegible]黄[illegible]初出城[illegible]
梅花[illegible]雪[illegible]琴上[illegible]恩[illegible]
[illegible]蕊[illegible]風[illegible]
五[illegible]
[illegible]言春色[illegible]東[illegible]暖南枝花[illegible]

後水尾

嵐こそ松の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

家世

[illegible]
[illegible]
山[illegible]
[illegible]

[illegible]人

常雅

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

青柳緑[illegible]陶門柳白玉[illegible]成[illegible]梅

いこう[illegible]
[illegible]
わ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

紅梅

梅含[illegible]氣[illegible]複花[illegible]

淺紅[illegible]仙方之雪[illegible]

[illegible]

[illegible]

あの葉
雲晴れさ江の
夕月の
水の月

漸紅葉他騎馬客未多唐汐之橋人
亟女廟紀似彩服君樹柳葉舟眉
城知老古風情如見此筆之一句語
大度嚴樹早落淮河彩粧道唐
山之春未開豈弥紅艶
雲鬟紅繞枝葉日春嬌黄珠柳風
秘宅近晴之月陰池畔水烟深

紀淑言

江上雲者
雲漢之位勝
玉壺稱舟一
葉之所比者
漁父乳數
樵歌先山路
素眞人

深山月浪安枝樓岸に風柔温泉瀬
あらとやこゝ
みゝ
はるゝ
はるゝ
はる

遠尼公家屯波入高士賜と歌詠
堂日蓮風高位千顯萬顯之玉深
枝波源表裏一入年入ゑ紀　菅三品
誰謂水無心流施治考波要施
進得花不語推漢考新勅唐
欲謂之水則漢女施彩流清壹
欲語之花則蜀人濯文錦桑綿

雪ふかりて　雪の
波ふるさと　河とうむ
雪の　雪の
波ふ　波ふ
ゆきの　ゆきの

明親　風
雪ふる　入江の
あ　ハ　ふ　わ
波ふ　ふ
ゆきの　ゆきの

雪乃
雪ふる　雪ふる
ふ　ふ
こ　こ

同
雪乃
雪ふる　雪ふる
ふ　ふ
こ　こ

為尹
波乃
雪ふる　雪ふる
ふ　ふ
乃　乃

織自行緑唯富貴如錦之横仕業風
花花花鶯春風柳緑花紅桃紅
恠緑春風柳緑花紅桃紅
眼貪蜀錦孫耳惜秦淑淵之華
世平不ゑ　くゑ　ゑ　ゑ　

海の景色それ
入日の宿
いうあやふ
さい行みて
ちさ 其加

落花

落花も落葉も樹陰の景色自入池
朝晴落花也初伊出蓮花島一味海
春花面こ風入酣暢と遥晴賞舞
こ樂来講論と座

後江相公

落花狼藉風狂浪時風狂浪時打濤
雖閑風翻塢樹下横狼藉顧倍勢

漁村夕照

落雁沙鷗
こうこうこうこ

昭親

あのやうに日汐
ゆの浦なつを
ふる舟をあが
入ふる哉

松阿

蘭うる夕月
なるふ舟をも
乗とをふ
ちはのふん

宗雅

海とや海士
のいさら火は
ほとや
夕月とて
後のふと

宗世

早ふる夕月の
ほとと雲を
海士の袖やの
あ〻ハ成ん

松雄

夕月新ふるや
ふるとと雲

すゝと屋
やハ
うゝ袖やく

為兼

新ふる月ハ夕月
のゆ海士
舟ハ月ハ
おゝふる雲

藤

点着雄黄天竹意気を護絹幕者風
言葉有発相収拾詔紙無文不奉行
海のはるく神なのゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻

帳曙惹昆

共義者の庭孫乞翠竹猫井芳為変

更衣

夏古の浦そこさへにかゝ
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻

夏

肖像燈籠瀧猫猫長和衣笠海老
宝殿家人着冠護面根岳元醍
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻
ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻

首夏

まつあさる
あ一へのこも
にさうはれて
うらゆくかり
もまたくたる
なり

蘆頭作業絶春雨陰底蓋殿入夏用
蓮葉石面稚荷出池心小蓮葉
うちやこのうちうれやはへうしし
なりこうふらとみるうれいる順

夏雨

風吹花雨天雨晴夏雨
風生竹裏雨晴時
空庭深閑雨月明

平沙落鴈
なりの雁ねぬよりはなきぬといひしかの
なくこうすちやうさしうしん九
古字書字漢
ひらしかれいあしかれつも四
墨模紫紋
なくこえよりはぬとせすれこ
鷹下寒河蘆
端午
花錯化衢陽有時當亡危身豆無意故園豆柳
雪誤向斜
陽嘶凍翎

後小松院
[illegible]

納涼

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神さとをたかきふかきをしらくへなりけり　丹文

花橘

廣橘文位山高重桐桐葉式部水風涼
枝繁金殿春雨後花薰雲殿麝蘭福
さつきまちいらかさちはるかりとうきを
ひしひしむとのうてのうをすれ　伊勢
ほくきをしたれもちかのうとこめて
なくはむしけやをしきを

蓮

風荷老葉蕭條綠水線花新蕊紅
翠蓋亭亭花明玉盤入篇風
煙開碧扇清風曉水色紅衣秋
岸竹枝低露鳥荷潭月照蛙
緩何更美吳山秋便夏雲高低下花
經雨顯目滿為眼知淵好中抽蕾
けらすの葉のこちらとすぬあらはれ
なとくはなとあやあさむく　長信

郭公

一声山鳥曙雲外万點花堂煙草中

さうこう屋くるまのいとくはるけきこゆるをもよ
ゆくとやまちくるはほるきすいまひとこゑ
うぐひすねさうちいかこきぬ
そきくうらを 袁忠

螢

堂上孔花秋已夜星與渡蟲初長

蒼蒼水暗螢知雨楊柳風高鷹選秋

明々仍在雁遲月光於屋上

皓々如湖出横雪汗於床頭

山經君裏鏡海驚蒼外濤

草深き道くらがりのもの
ひとつ
ちくしかれぬものはなりもの
ならうら

蟬

[illegible]考壽同五樓暖号温泉溢
[illegible]号秋風山輝峰号宮橋紅
十年馬路倉梅夏今年輝峰異春秋
馬下後華奏亮舞輝峰美樂溢春秋
今年異例[illegible]新[illegible]悲宮[illegible]
歳玄[illegible]聽不寒[illegible]
[illegible]ひみ祢のこすしたの[illegible]
[illegible]ハきてこ[illegible]人九

[illegible]よ[illegible]ぬ[illegible]て
ねがなくしけのうれうすくよ[illegible]元
扇
盛夏不銷雪終年無畫風
[illegible]ゆ[illegible]
不期夜漏初[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

きりけうそにまうすなのきれのせるのれをたゆいぬ弟のもあ〜とをはるよ　木勢

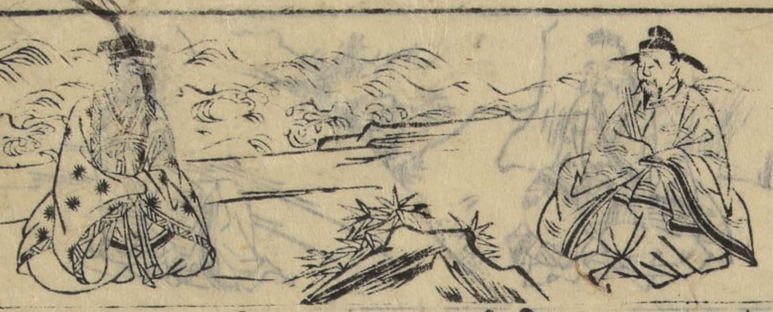
秋　立　妹

蕭瑟風与寒墻籬教計會一時妹
鶏鶴漸歇間秋色小雞老趨屋晚時激
やをたるぬをたをたにさやにみ〜秋とも
うあれとをふうおとろう稀ぬ鶏行
うらつ寒小物我ろめ〜きこの家ち〜
ひうきすしめとをふそを掛〜ち　佐宣

但喜暑者隨三伏去不知秋送二天来
槐花雨初霽桐葉風漸多
紫薇剤殘夜尚聞晚漏清秋色老
秋者らていくとあ〜ぬとこの秋ぬう
ひくるものうせいかあとすーを　長卿

七夕

憶得少年長乞巧竹絲穿線女
二星遥遥望未飽何為此恨



[illegible]
露應別淚珠[illegible]
風流[illegible]詳[illegible]
玄宗[illegible]浪霓裳[illegible]
詞[illegible]澄[illegible]遺[illegible]
あまれ[illegible]
[illegible]
[illegible]
あひみ[illegible]

[illegible]
ぬるわのうねうすまるらけ[illegible]

秋興

林間燒[illegible]紅葉[illegible]題[illegible]
[illegible]思[illegible]高[illegible]
[illegible]
物[illegible]
由来感[illegible]

李賀

盧仝

第一傷心何處家竹風落葉月照花
蜀琴淚盡浮花水練衣寒搗雪聲
うつろくいろのはきこはき法
ゆふ〳〵とみつるうふ
あさなゆふべとれ〳〵たるうら
おもひこのうハ女蘇の〳〵
秋曉
相思久不和愁雲無雨雪
曙月照花枝如此孤眠者

杜牧

李商隱

おもふこゝろ〳〵のこの色のもすきき
かのうゝみ海のうきれタくれ貫之
秋夜
秋夜長こゝ無眠天河動
殘燈照蘭蕙曉露如珠
蟲聲繞砌急月華滿庭
鏡子樹中秋月華為一人
墓草雨源人今復經霜春月照

葛藤の裏孤舟を棹して万里に
のぼり
ひさごの
みなくしてあるかたちのもの
しりそのまゝこつそりにあきそう
いろいろあきのあるゝてゆるる
八月十五夜 付月

蓬甸之一千餘里凉々氷蘭漢家
卅六宮澄々鏡錦機中
桐恩之玉ゆ搗衣砧上秋思の三千

三五夜中新月色二千里外故人心
嵩山春裏千重雪洛水高位夏頃
十二回中最勝時
鵜池金波三天初秋風計会四海
自類海鷗雲人道意三花過夏
岸向風来松上韻濃能の蓮中色
瑞池便是蓬萊島

金膏一滴秋風露五更三更冷澄澄
楊貴妃深宮美人玉淚情
みいりのみてる月なれかうれい
こうひそあさのしるるうりけり 鳴

月

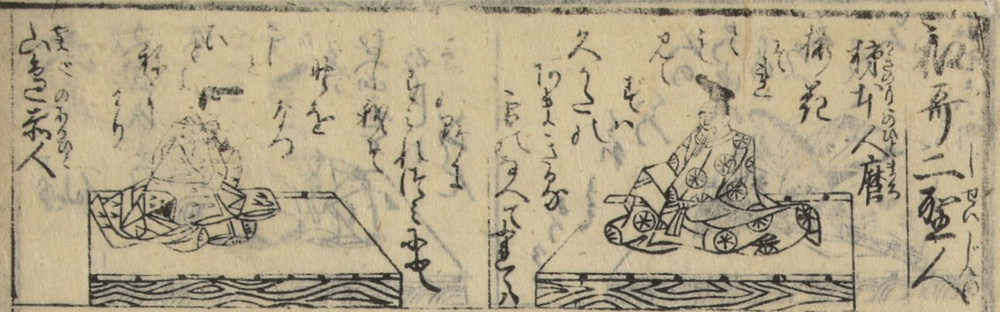
誰人能知久徙何事遠新月
秋水澄茶鼎玉速夜雲收盡月沈樓
不醉如何奈海摩園月西蓋

天山不解何年雪合浦無還寄月珠
欲和琴頭新舊恨香茶華亭鶴文行
鄉淚數行西或去揮毫一曲新溪翁
あまれはあるはあれはいすれ月
みるとれやうけれ月
ろうふ
四すうへみ
うふぬきいの
けうふ
九月 付蘇

鶯知紅日深巢玄菊為重陽昌之開
採花事於淺則亦華掛宮人之衣
尋虎跡於魏文之黃花助彭祖術
先二月遠之映之花蕊星〻鶴の毫
〻十分考蕩之新凝秋霜和之洛川
谷水流花源下流而出玉壺音井紅の
地脈深食同精駐年之者之面簡年

いらぬつらてうしの
菊
霜華老鬢二分白雪蕊新花一世黃
不是花中偏愛菊開後更無花
崑陰欲暮契松桐之後凋
秋景早移明芝蘭之光影
鄰縣村間古洞屋南家昭子の蕭書

三十六人乃歌仙ハ
四条大納言公任卿ノ
乃名
仏とあきを武ハ
仏とあらくまのれしと
きは光堂法師ハ
右ハわらちて十八歳
につ入りえれども
命かちくみ
さきまくハ今ハ
をさらはりこの秋
かとうとを
世ハ流布乃中に
あやまりきるを
ぞ　梓よりう
ゑあせよしろくひ
ゑむ地ゑし



蘭菊自慰乃俗骨撞維不信有長生
蘭蕙菊嵐撞維系後蓬莱洞門無事中
ちとうとれくらてみて蓬
あるつほとそうやもれきる
まちりてふ
ゑしんやしんゆ乃
とうこ
九月盡
源清函為固雖為固難為堂得
張今函責而追何度奕籟於風流

頭同泥陀禅宗元林施与太雅雅
文峯接鬱曰駒家詞海鰐舟乃京
やまひ
紀の聚
われ
女郎花
花色艶顔乃俗骨為女郎同名
感歌類偽老恐悪裏義首似名

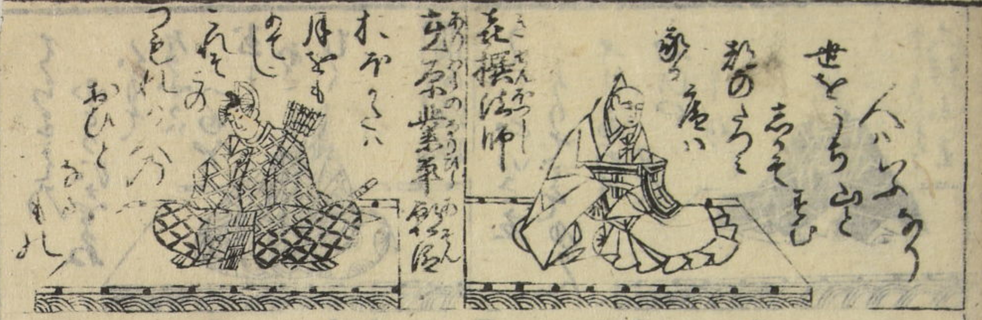
六歌仙

萩

曉露の花始咲面白き萩の一味情
秋のふはもきこうるものとなる紙ゐこ
わるや祈り我乃くるけくそ思　人丸
うらうらにさきにけりとけ面つ越うる　伊勢
ふれるうらにとけ面つ越うる
ひきれ登にたるにたのにき紙嬉うさに
ちうの孫ちうるうるうれ　元輝

蘭

前頭更有蘭像物充書裏案三百
枝梁豈無孤芳幸沐雨露之香
落葉豈不芳年秋風吹而凋殺
凝如漢女頭新粉滴似敏人脂淚
幽鶯越客秋空顧美月遊嬉時枕
ぬしをひつ〜あきのく
ぬかハにをひつ〜あきのく
ぬうぬうさうぬちうるるるる　素性



槿

松樹千年終已朽槿花一日自為榮
秋来万物皆蕭瑟有樹最宜愛晚情

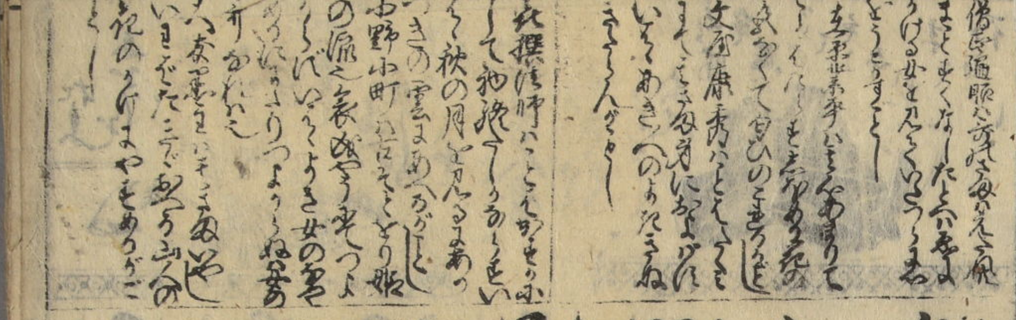
玄石返槿離堂投堂名也

おもしろ
ふみ
ひとしなみ
ひとしなみ
ひとしなみ

遠信

遠信

形裁

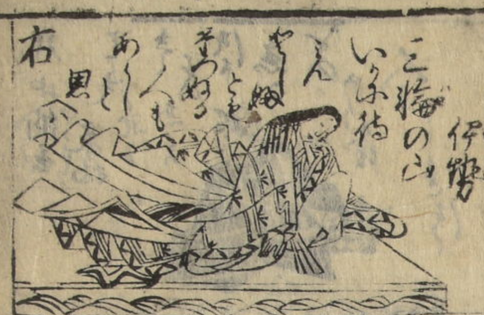


傳受遍照心院法眼元慶
まさしくなりたる法師
なりけるかを見くらべ
とうとうすこし

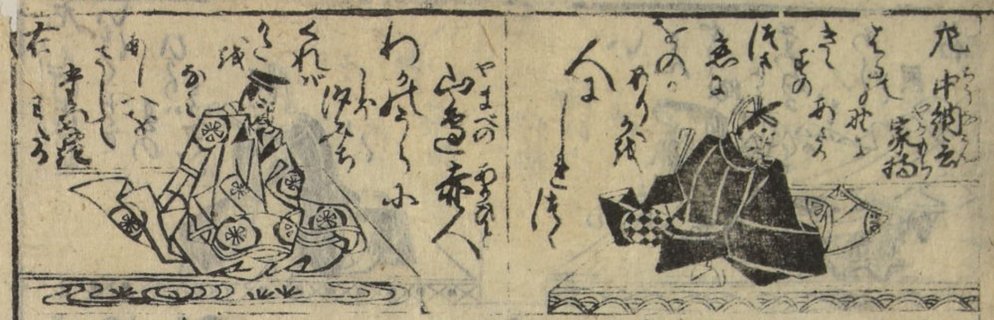
玄賓僧正いまはあるりて
しくしくとたのもしかる
気色にて見ひのこと
文屋康秀ことしてこと
まことこそ名にあるべし
いそのかみ
ふるの
さとの
ふる人ぞ

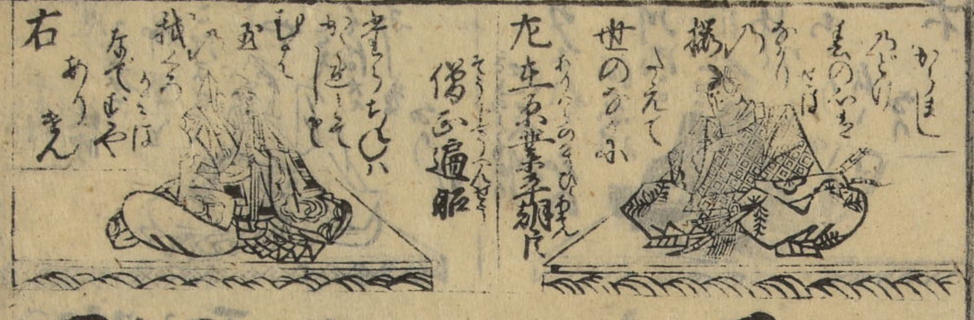
花撰法師ことしかぞの小
しして物語してうるおしき
うち秋の月を見るあの
つきの雲まあ
小野小町
の源之長
らしいうきよ女の
ふるさとより
ようなぬ
ハ友
いまでたこそ
花のうしよやをめ

多男裁花元月傳元禄養子閑遊
自吾閑寂家傳春樹養裁
閑思著汝花紀月一巡是尚吾愛因寺
置非種屋思元亮為花財信世号
ちりぬるかぜ
いしとうるわ
けるよりも
とくにしい
紅葉付義象



不慈紅衆青苔池又是深閨言面面
黄瀬瀬林密有紫瀬瀬瀬水清無風
洞中清淺瀬瀬水無王業錦繡林
外物悠離孔洞乃餘波合力鋪江辨
落葉
三秋而宮漏正長空階雨滴
万里西郷園何世落葉
秋夜不拂拂杖穿踏指揮矣
城柳可枯漏搖搖不悲人心
梧桐新雨一声々雨空灑鶴唳
蓬蘭生夜月孤殘
樵蘭生及杖寒朱賞臣衣





万里人南玄之春　小花

不知何歳月滑与洲同帰

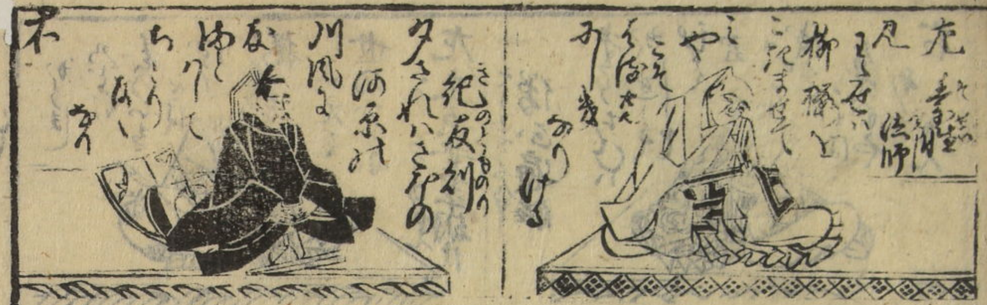
孤陽江西酒家辞屈来

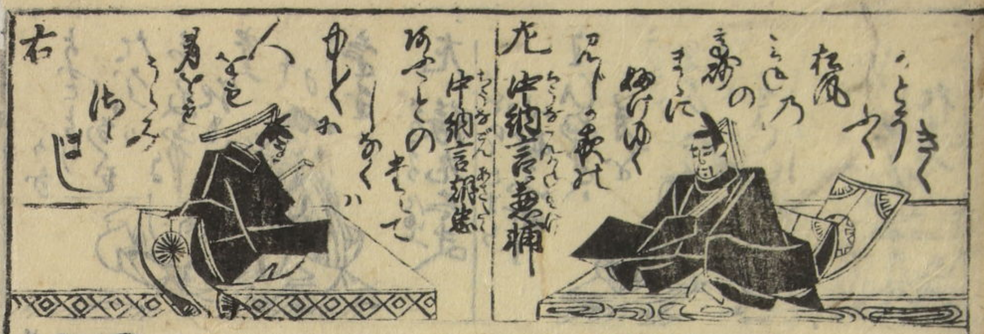
四五朱山桃夏三月唐黛雲移

庵弓雖遠赤楓紅之月懸

奇峯易迷枕成誤於下流水急

厚彩碧流書責紙草擊五月春夜





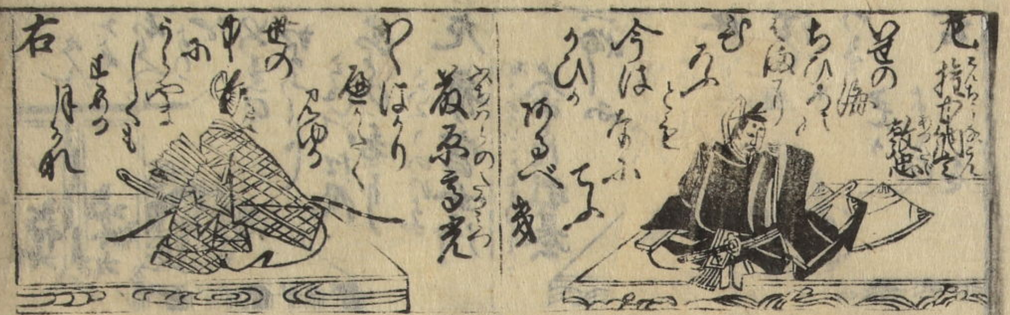
右

鹿

養苔路滑備逢寺紙鑑尊敬康之林
暗遠食華身名一愛更迫然滝風寒
しみちをぬ者こそ盤乃ふすしかの
をのれなきてや秋をしまん 後鳥羽
ゆふくよとそしれ風にくしれ
こゑのうちあやはいさとやしむ 基定

露

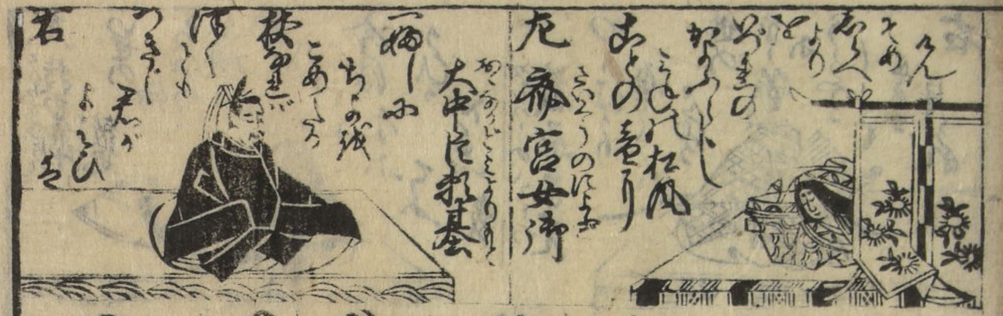
可憐九月初旬二枝露玉真珠月似弓



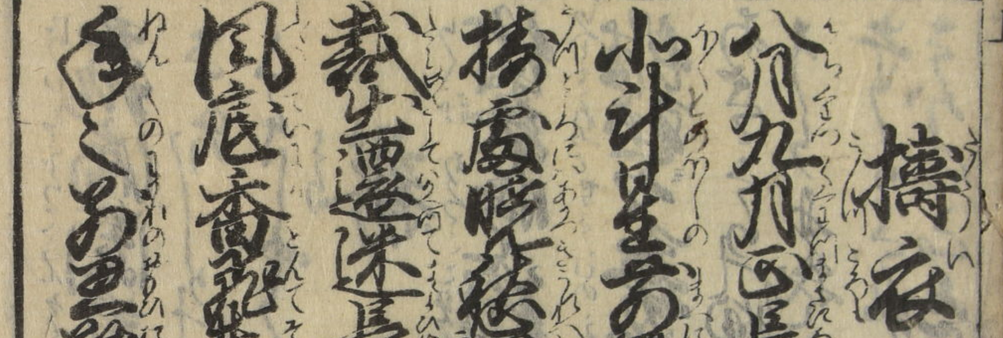
右

霧

竹霧時人絶信濃路遠白江山
雖然夕霧埋今秋程光朝霧出馬籠
あさぎりの絶間をこめてくちぬまと
うらゆ我秋乃ゆくハみ見をけり 源実朝
さりのうれんのうきなれくこうれ
さかのこゑとどうく長くん 谷則



右 赤宮女御



右 大中臣利基

右 源忠親

右 藤原忠房

搗衣

八月九月四長夜千聲萬聲無了時
小計星河月一段
搗處秋園月冷裁寒衣
裁之遥深長絮盡
風底斎部奉月方抒悲雨眉低
白雲月出遠山眉

右 小野篁

右 紀貫之

初冬

十月江南天氣好
惜冬永日春花
雖西思婦抒悲
四時交落云物流
春上卷收青竹簾
東中閑書白鷺

元夜

一首寒燈照雪窓
白光自向燈花生
年年歩月
歳暮

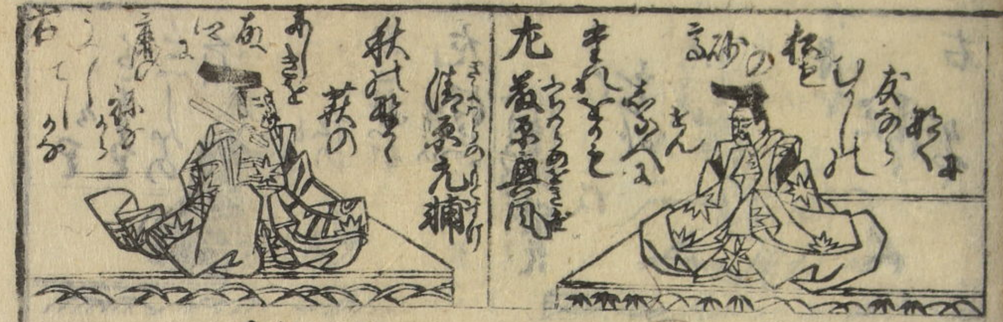
[illegible]

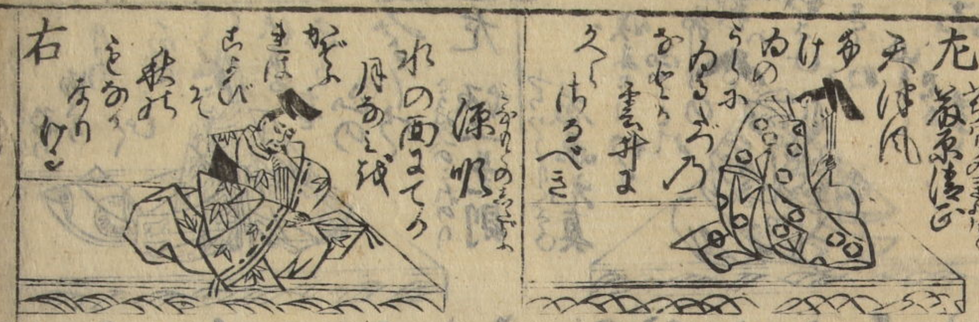
爐火

[illegible]

[illegible]

[illegible]





霜

三秋厚雪花物但一夢林葉衰紅
万物秋来秋懷を問ふ家潤く
園寒夢驚き或は孤烟に依て山深
窓動き人侵て皓々驚遍
紀貫之

君子夜深音ふ老花晚驚を者
春くるに新花を報ふ初春前侵人

畳積る海鷗寒を春鶴を詩
雨に花を孤に孤を月に
くくひとくくきけばとうの
雪

慌入梁まくに荒雪海蒼
夜半に度ひくに梅花の
縱て沙漠に雪の梅花開一万樹
雪似鵝毛非数丸人相驚疑白鷺

左 坂上是則

左 藤原元真

左 三条院女蔵人

右 藤原仲文

氷

氷剣 氷面 無波雷跡林 以見有

霜の霧 凝寒無雲 清松 影高有氷

春氷

引綱母 多能地雷 寿量 寒入綱

右 大中臣能宣

右 玄上忠見

冰滝宣旨 能因法師

雪越梁上宣旨

胡蜜滝給使 伊勢の澤泥還恐先使忠

霰

麝香炭一煙 藤原公任

香炭一煙 藤原公任

右 中務

秋風の

右 平兼盛

秋のくも

和漢朗詠集上

本草図説集十

此方
三冊揃
南部